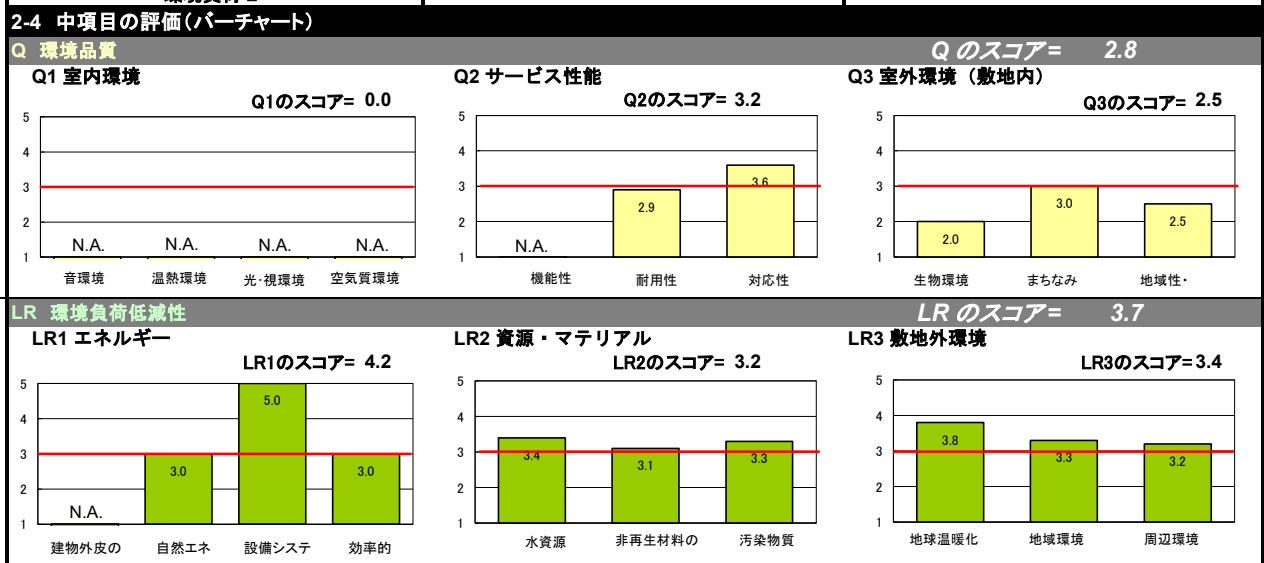
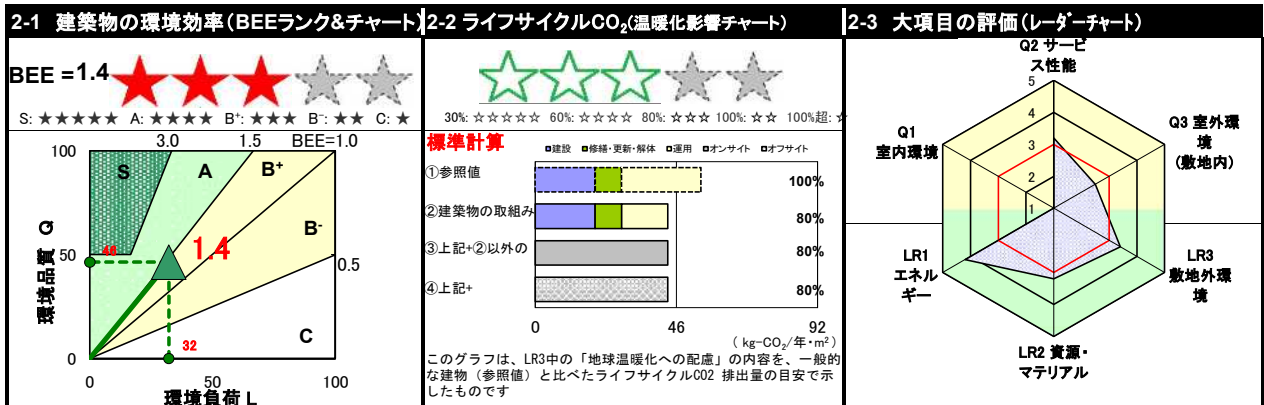


# CASBEE® - 建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)株式会社カナイ物流管理センター新築工事	階数	地上4F
建設地	埼玉県八潮市	構造	S造
用途地域	準工業地域、防火地域指定なし	平均居住人員	100人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年12月 予定	評価の実施日	2024年8月23日
敷地面積	7,606 m <sup>2</sup>	作成者	大澤 朋宏
建築面積	5,099 m <sup>2</sup>	確認日	2024年8月31日
延床面積	9,268 m <sup>2</sup>	確認者	金井 亮太

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 主要給排水配管は耐用年数が長い材料を使用している。 ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。		<b>その他</b> 特になし。
<b>Q1 室内環境</b> 評価対象外	<b>Q2 サービス性能</b> ステンレスダクトを使用している。 階高3.9m以上。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 特になし。
<b>LR1 エネルギー</b> [BEI][BEIm]=0.58	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。 LGS使用している。	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率80% 燃焼機器を使用していない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
 (仮称)株式会社カナイ物流管理センター新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
<b>Q 建築物の環境品質</b>									<b>2.8</b>
<b>Q1 室内環境</b>									
<b>1 音環境</b>									
1.1 室内騒音レベル		-	-	-	-				
1.2 遮音		-	-	-	-				
1 開口部遮音性能		-	-	-	-				
2 界壁遮音性能		-	-	-	-				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	-				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	-				
1.3 吸音		-	-	-	-				
<b>2 温熱環境</b>									
2.1 室温制御		-	-	-	-				
1 室温		-	-	-	-				
2 外皮性能		-	-	-	-				
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-				
2.2 湿度制御		-	-	-	-				
2.3 空調方式		-	-	-	-				
<b>3 光・視環境</b>									
3.1 昼光利用		-	-	-	-				
1 昼光率		-	-	-	-				
2 方位別開口		-	-	-	-				
3 昼光利用設備		-	-	-	-				
3.2 グレア対策		-	-	-	-				
1 昼光制御		-	-	-	-				
3.3 照度		-	-	-	-				
3.4 照明制御		-	-	-	-				
<b>4 空気質環境</b>									
4.1 発生源対策		-	-	-	-				
1 化学汚染物質		-	-	-	-				
4.2 換気		-	-	-	-				
1 換気量		-	-	-	-				
2 自然換気性能		-	-	-	-				
3 取り入れ外気への配慮		-	-	-	-				
4.3 運用管理		-	-	-	-				
1 CO <sub>2</sub> の監視		-	-	-	-				
2 喫煙の制御		-	-	-	-				
<b>Q2 サービス性能</b>			0.43						<b>3.2</b>
<b>1 機能性</b>									
1.1 機能性・使いやすさ		-	-	-	-				
1 広さ・収納性		-	-	-	-				
2 高度情報通信設備対応		-	-	-	-				
3 バリアフリー計画		-	-	-	-				
1.2 心理性・快適性		-	-	-	-				
1 広さ感・景観		-	-	-	-				
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-				
3 内装計画		-	-	-	-				
1.3 維持管理		-	-	-	-				
1 維持管理に配慮した設計		-	-	-	-				
2 維持管理用機能の確保		-	-	-	-				
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>2.9</b>	0.50						<b>2.9</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振		<b>3.0</b>	0.50						
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80						
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20						
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>2.9</b>	0.30						
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20						
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20						
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10						
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	屋外露出にステンレスダクトを使用しているためレベル4。	4.0	0.10						
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20						
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20						
2.4 信頼性		<b>2.8</b>	0.20						
1 空調・換気設備		3.0	0.20						
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20						
3 電気設備		3.0	0.20						
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20						
5 通信・情報設備		2.0	0.20						

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.6</b>	0.50		-	-	<b>3.6</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>5.0</b>	0.30		-	-	
1	階高のゆとり	階高は全て3.9m以上のためレベル5。	5.0	0.60		-	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率は[壁長さ比率] < 0.1のためレベル5。	5.0	0.40		-	-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			<b>3.0</b>	0.30		-	-	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.0</b>	0.40		-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.57		-	-	<b>2.5</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>2.0</b>	0.30		-	-	<b>2.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.40		-	-	<b>3.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>2.5</b>	0.30		-	-	<b>2.5</b>
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50		-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50		-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-		-	-	<b>3.7</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	0.40		-	-	<b>4.2</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>			-	-		-	-	-
<b>2 自然エネルギー利用</b>			<b>3.0</b>	0.13		-	-	<b>3.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>		[BEI][BEIm] = 0.58	<b>5.0</b>	0.63		-	-	<b>5.0</b>
<b>4 効率的運用</b>			<b>3.0</b>	0.25		-	-	<b>3.0</b>
集合住宅以外の評価			<b>3.0</b>	1.00		-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	-	
集合住宅の評価			-	-		-	-	
4.1	モニタリング		-	-		-	-	
4.2	運用管理体制		-	-		-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	0.30		-	-	<b>3.2</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.4</b>	0.20		-	-	<b>3.4</b>
<b>1.1 節水</b>		節水コマなどに加えて、節水型便器も採用しているためレベル4。	<b>4.0</b>	0.40		-	-	
<b>1.2 雨水利用・雑排水等の利用</b>			<b>3.0</b>	0.60		-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>3.1</b>	0.60		-	-	<b>3.1</b>
<b>2.1 材料使用量の削減</b>			2.0	0.11		-	-	
<b>2.2 既存建築躯体等の継続使用</b>			3.0	0.22		-	-	
<b>2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用</b>		-	3.0	0.22		-	-	
<b>2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用</b>		木質系セメント板	3.0	0.22		-	-	
<b>2.5 持続可能な森林から産出された木材</b>			-	-		-	-	
<b>2.6 部材の再利用可能性向上への取組み</b>		LGS使用しているためレベル4。	4.0	0.22		-	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.3</b>	0.20		-	-	<b>3.3</b>
<b>3.1 有害物質を含まない材料の使用</b>			<b>3.0</b>	0.30		-	-	
<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>			<b>3.5</b>	0.70		-	-	
1	消火剤		-	-		-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0, GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用しているためレベル5。	4.0	0.50		-	-	
3	冷媒		3.0	0.50		-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	0.30		-	-	<b>3.4</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		ライフサイクルCO2排出率80%のためレベル3.8。	<b>3.8</b>	0.33		-	-	<b>3.8</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>3.3</b>	0.33		-	-	<b>3.3</b>
<b>2.1 大気汚染防止</b>		空調・衛生機器は燃焼機器を使用していないためレベル5。	<b>5.0</b>	0.25		-	-	
<b>2.2 温熱環境悪化の改善</b>			<b>3.0</b>	0.50		-	-	
<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>			<b>2.5</b>	0.25		-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25		-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25		-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>3.2</b>	0.33		-	-	<b>3.2</b>
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			<b>3.0</b>	0.40		-	-	
1	騒音		3.0	1.00		-	-	
2	振動		-	-		-	-	
3	悪臭		-	-		-	-	
<b>3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制</b>			<b>3.0</b>	0.40		-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70		-	-	
2	砂塵の抑制		-	-		-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	-	
<b>3.3 光害の抑制</b>			<b>4.4</b>	0.20		-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	「光害対策ガイドライン」の全ての配慮事項を満たしている。また、「広告物照明の扱い」の項目の過半を満たしているためレベル5。	5.0	0.70		-	-	
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	-	

# CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

## 1 建物概要

建物名称	(仮称)株式会社カナイ物流管理セ	BEE	1.4	BEEランク	★★★
------	------------------	-----	-----	--------	-----

## 2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
3.8	+	2.6	=	6.4 
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上 	非常によい 6.8以上 	すばらしい 8.0以上 	

## 3 重点項目についての環境配慮概要

<b>(1) ライフサイクルCO2の削減</b>		スコア平均	3.8
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.8
ライフサイクルCO2排出率80%			
<b>(2) 緑の保全・創出</b>		スコア平均	2.6
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	2.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
特になし。			

 :入力欄